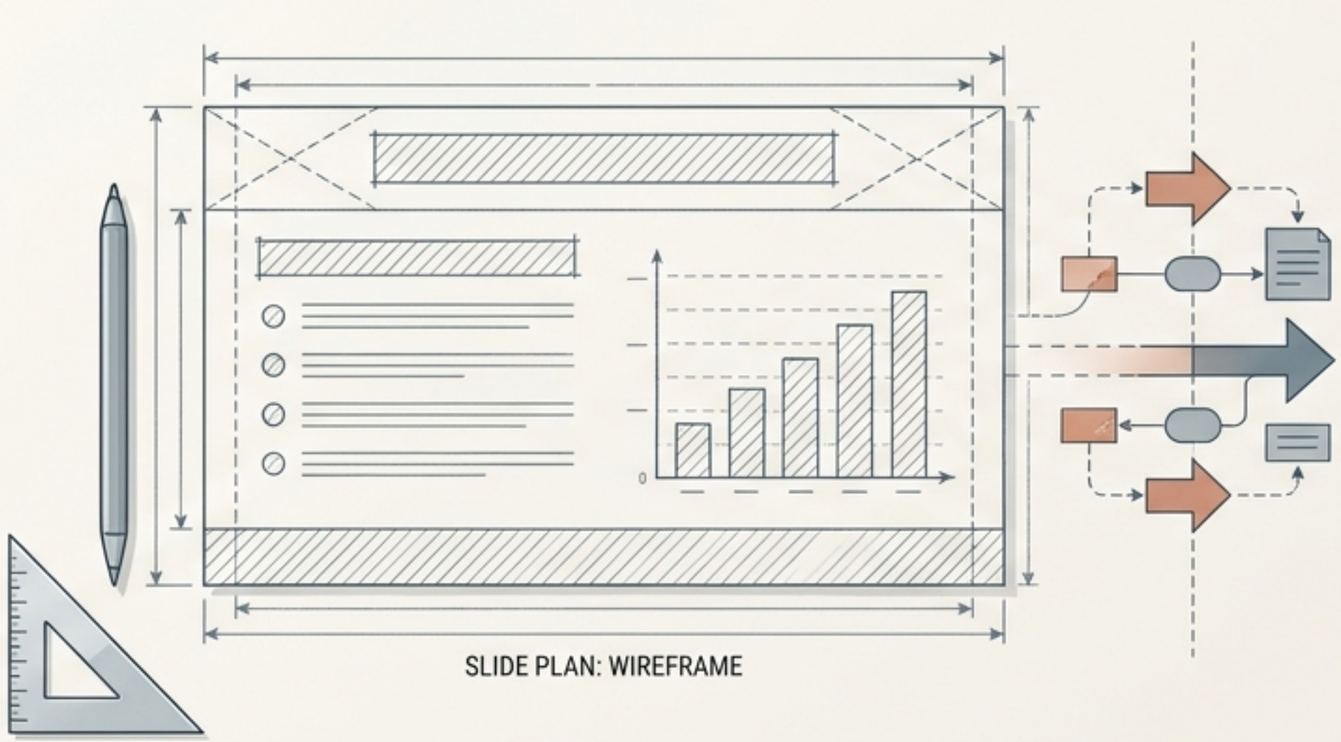
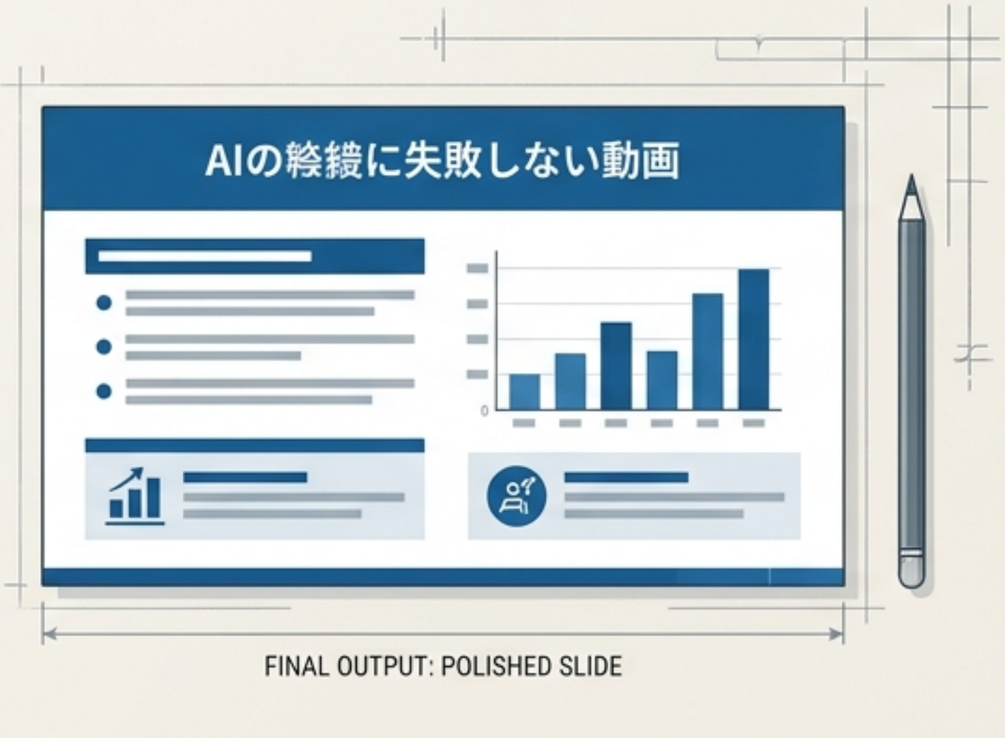
AIへの『丸投げ』は終わる。
Gemini Notebookで作る、失敗しない資料と動画

旧NotebookLMから進化した『Gemini Notebook』の新機能。
スライドや動画の生成前に『構成』を自ら確認・修正できるプロセスを徹底解説。



SLIDE PLAN: WIREFRAME

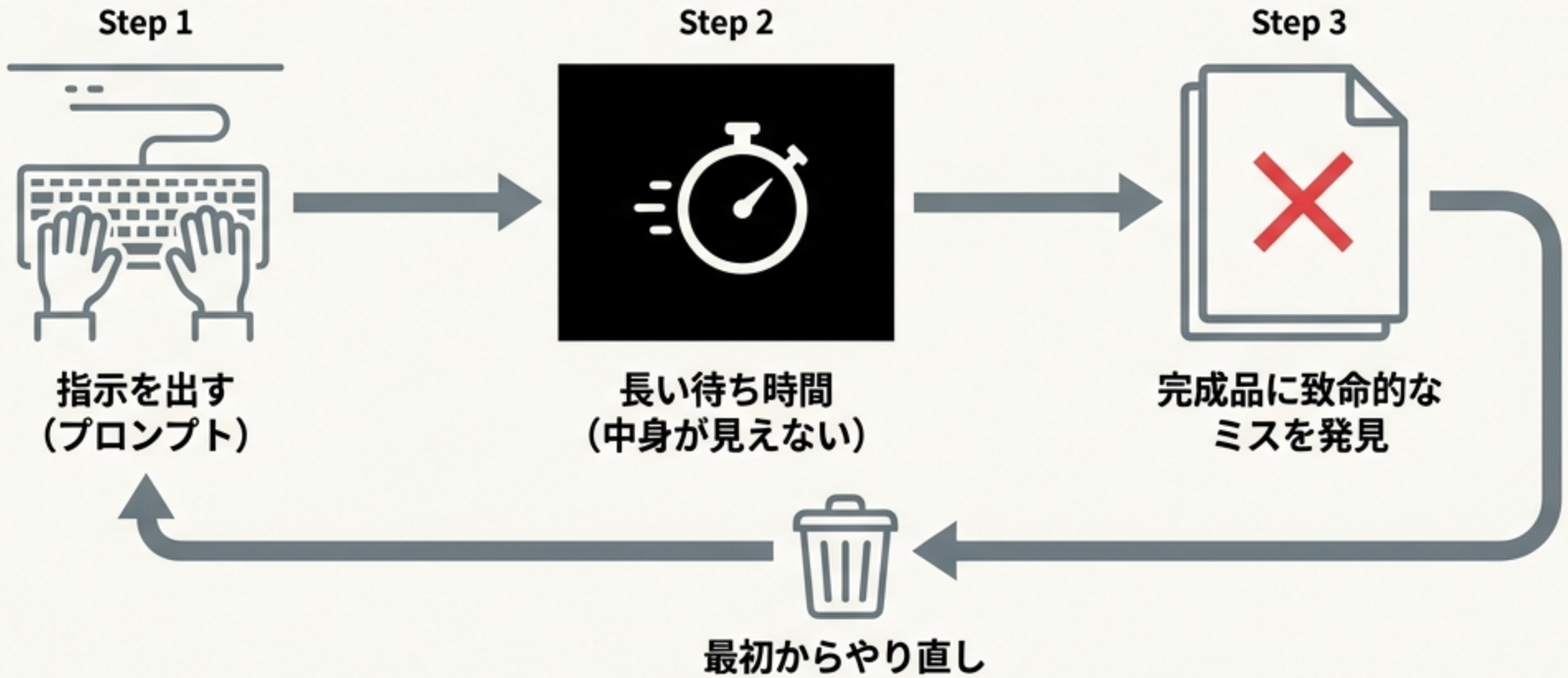


FINAL OUTPUT: POLISHED SLIDE

従来のAI生成が抱えていた『ブラックボックス』の不安

これまでは指示を出した後、AIが裏側で何をしているか確認できず、完成を待つしかありませんでした。結果が希望と違えば、多大な時間のロスに繋がります。

従来の一方通行なプロセス



Gemini Notebook

新機能：完成前に『設計図』を確認・修正できる

Gemini Notebookは、いきなり完成品を作るのではなく、事前に『構成案』を提示し、あなたのGOサインを待つようになりました。これにより、AIとの『共同作業』が可能になります。

新しい共同作業プロセス

Step 1



指示を出す

Step 2



構成の確認と修正
（ここでミスを防ぐ）

Step 3



確定して生成開始

Step 4



思い通りの完成品

スライド作成の手順：[Review outline notes] の活用

1. 提案

資料から抽出されたトピックを確認。

2. 構成

[Review outline notes] のスイッチをONにすると、数分で構成案が作られる。



3. 修正

『要約を足して』『順番を変えて』など、修正の指示を**1回のメッセージ**でまとめて伝える。

4. 確定

[Proceed] を押すと最終的な生成が始まる。

生成後の手直し（Revise）

スライドの場合、完成後でも1枚ずつテキストやレイアウトを直すことができます。

書き出し形式

PDFまたはPowerPoint（.pptx）でダウンロード可能。 自社のテンプレートに移植できます。

Gemini Notebook

動画作成の手順：[Review producer notes] が唯一の修正チャンス

1. 構成

[Review producer notes] をONにして動画の構成案を出す。

2. 修正

追加したい内容や順番の希望を伝える。

3. 確定

[Proceed] を押してレンダリング（映像化）を開始。

【重要】30分以上の待機

動画の生成には非常に長い時間がかかります。

【警告】後からの修正は不可

スライドとは異なり、動画は完成後に手直しする方法がありません。構成案の段階で完璧に仕上げることが必須です。

Gemini Notebook

スライドと動画における『修正の自由度』の違い

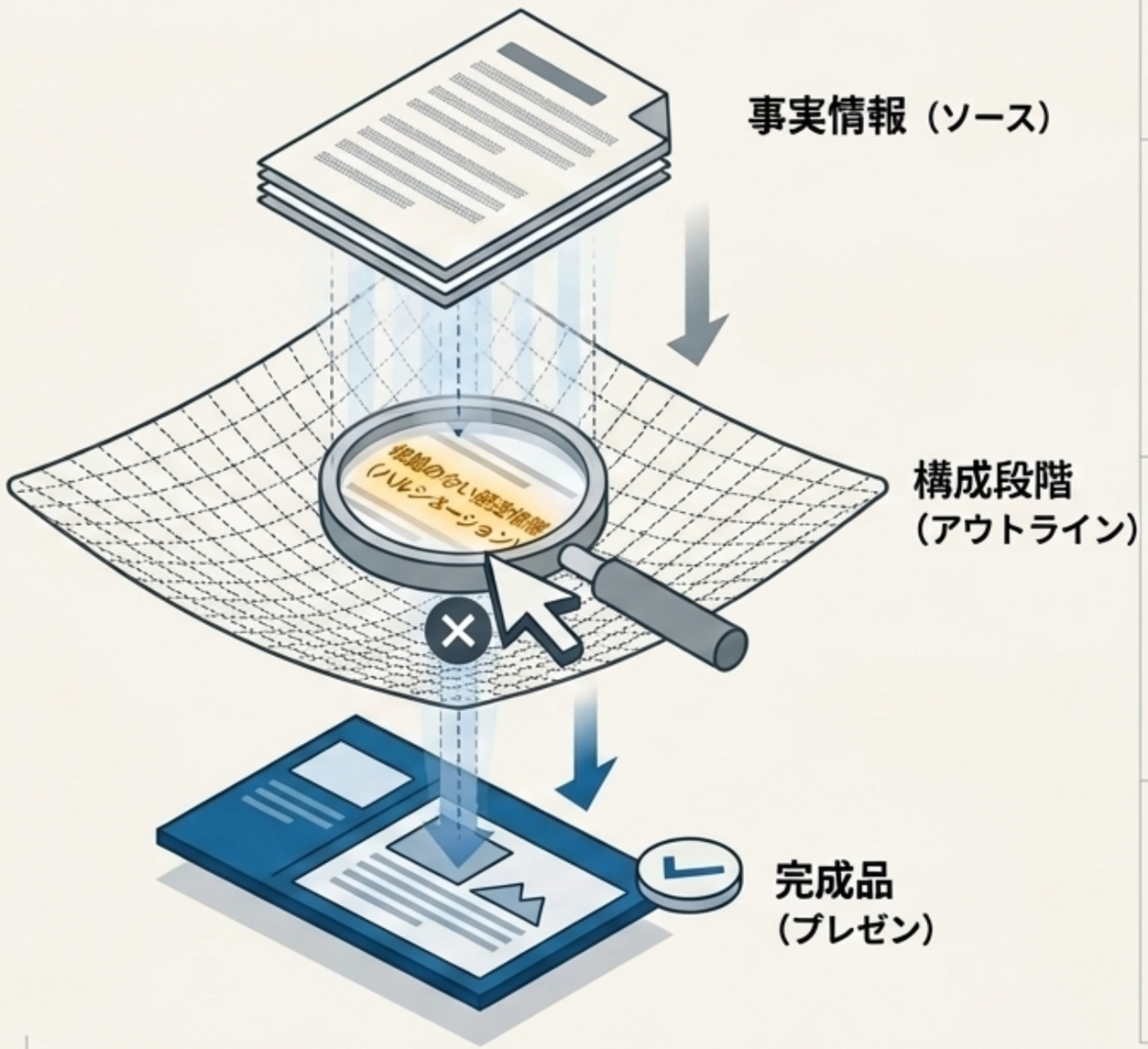
動画作成における『Proceed（確定）』ボタンは、後戻りできない最終決定です。

	スライド	動画
機能名	Review outline notes	Review producer notes
生成にかかる時間	比較的短い	30分以上かかることも
完成後の再編集（Revise）	可能（1枚ずつ修正可）	**不可能（一発勝負）** ⚠
安全な使い方	大枠を決めて、細部は後から直す	構成案の段階で、徹底的にミスを潰す

Gemini Notebook

資料にない『もっともらしいウソ』を、作る前に防ぐ

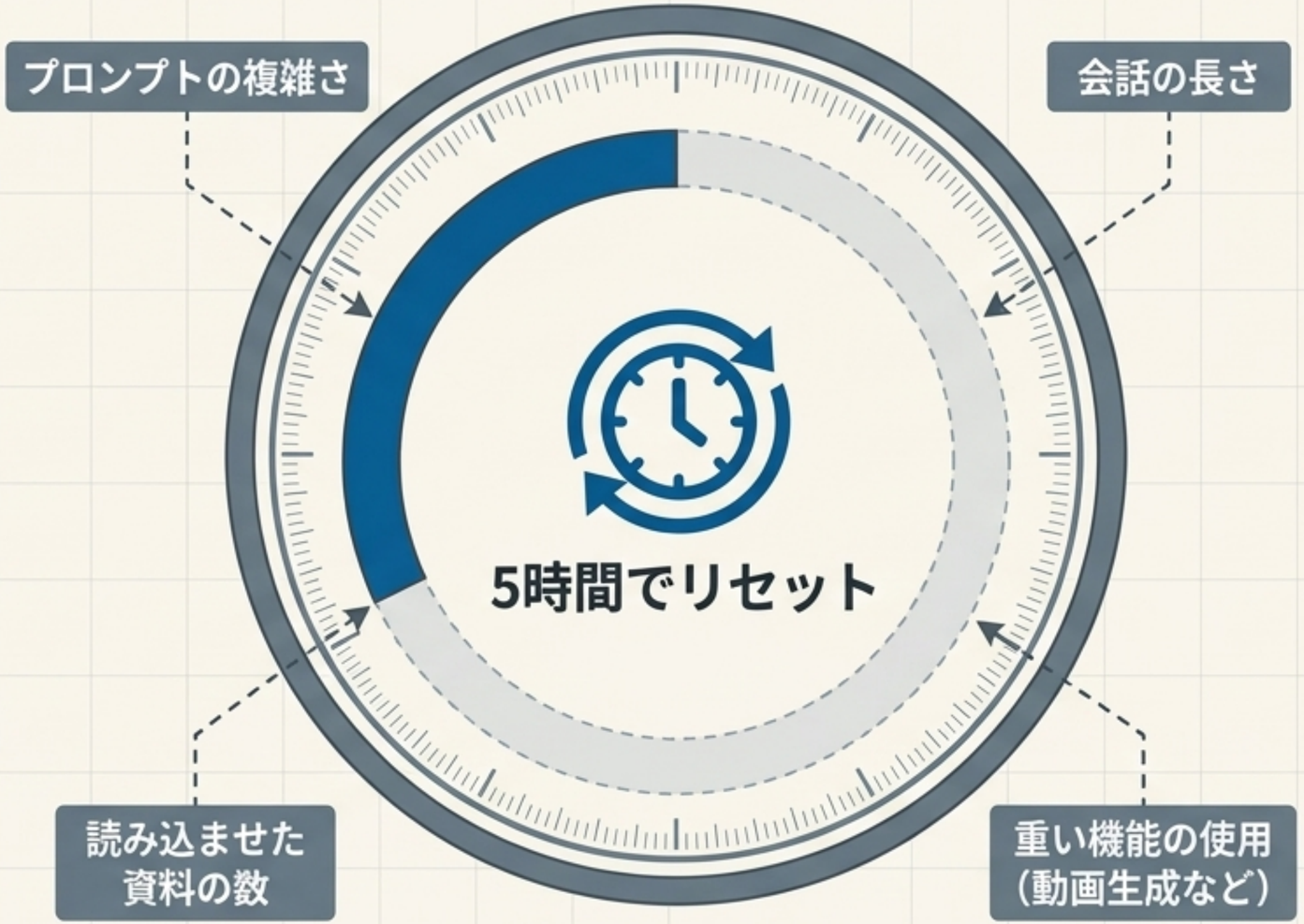
AIの弱点は、元の資料にない情報を
しれっと混ぜることです。
構成段階（アウトライン）で全体を俯瞰できれば、数分で事実確認ができ、
間違った情報が会議やクライアントに
流出する事故を防げます。



Gemini Notebook

5時間ごとに回復する、柔軟な『計算量』の枠

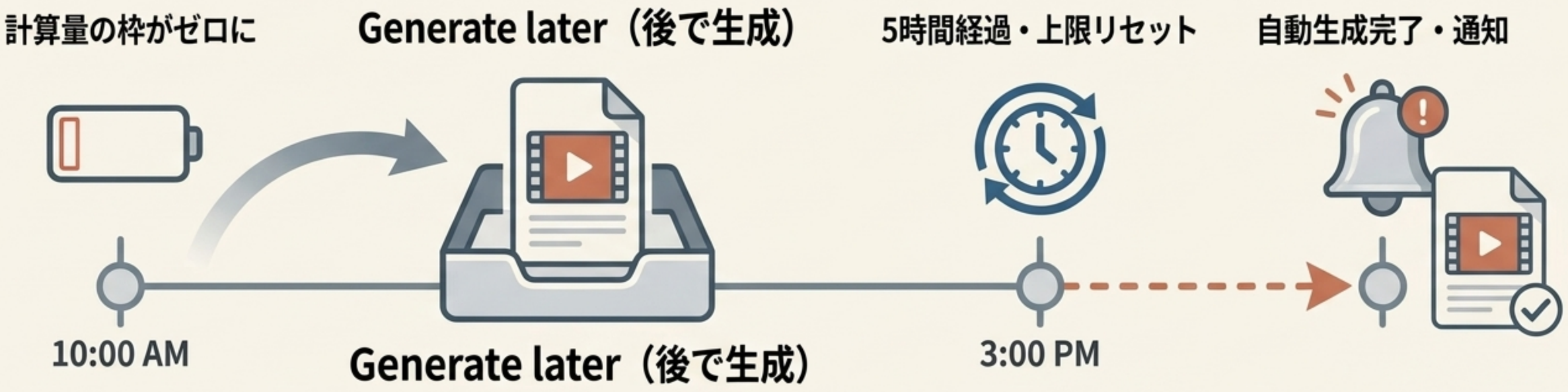
従来の『1日○回』という制限から、『計算量 (コンピューティング予算)』の消費制に変わりました。
残量はAIが教えてくれ、消費した枠は5時間ごとにリセットされるため、1日を通して作業を継続しやすくなりました。



Gemini Notebook

枠が尽きても作業を止めない『後で生成』機能

重いタスクはシステムに預けておくことができます。上限がリセットされたタイミングで自動的に生成が行われるため、待ち時間を別の仕事に有効活用できます。



Gemini Notebook

AIへの『丸投げ』から、あなたが『アートディレクター』になる働き方へ

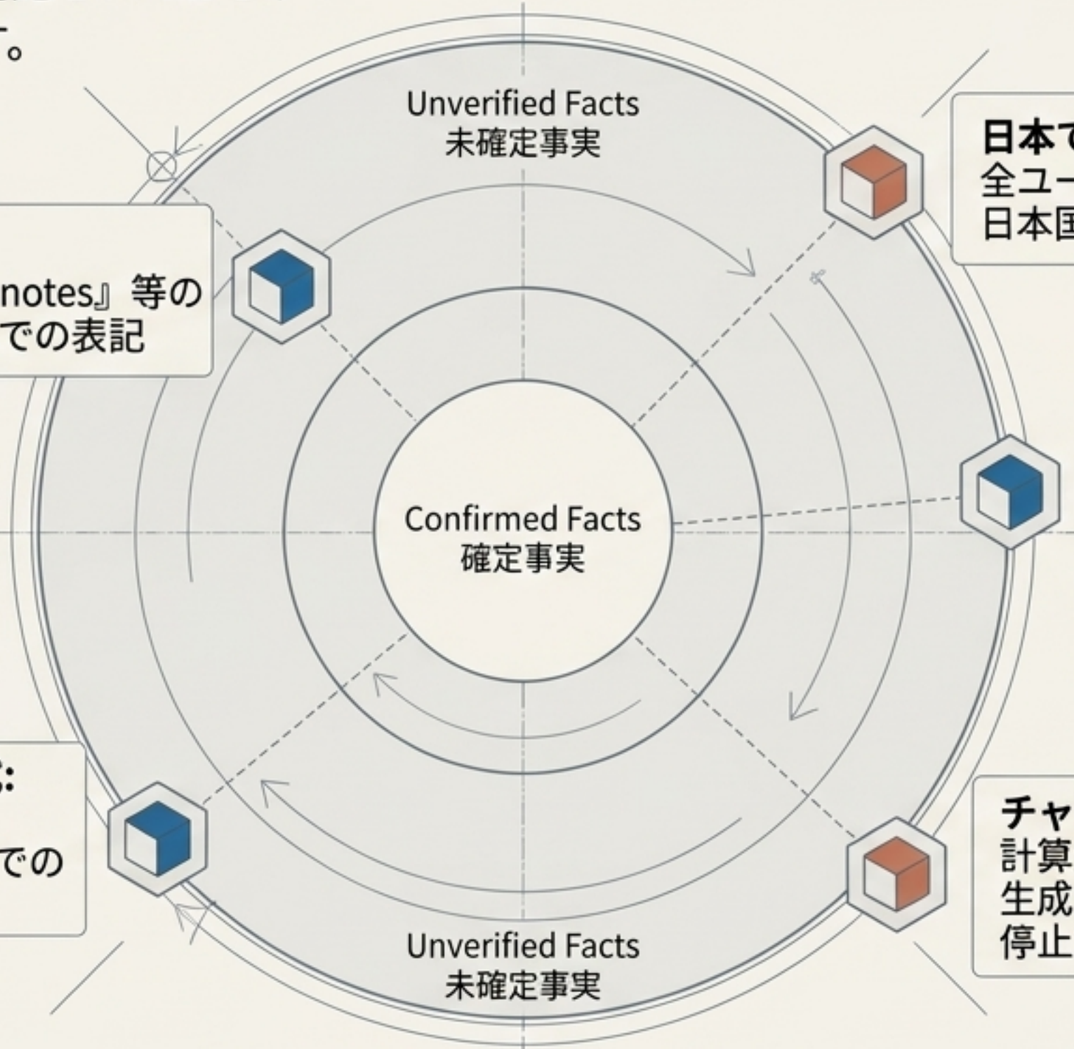
構成を確認し、指示を出し、重い処理は裏側に任せる。この新機能と計算量の管理を組み合わせることで、
私たちはAIの下働きから解放され、品質を担保する『監督』の役割に専念できるようになります。



Gemini Notebook

現時点では未確定な事実（調査中事項）

以下の項目は公式発表や報道で明記されておらず、
実際の動作環境で確認が必要です。



日本語UI名:
『Review outline notes』等の
正確な日本語画面での表記

日本での展開:
全ユーザーへの展開完了時期と、
日本国内での正確な利用可否

プラン要件:
公式ブログの『全ユーザー』と、
ヘルプ画面の『AI Ultra限定』
という記述の食い違い

Googleスライド形式:
PDFとPPTX以外の、
Googleスライド形式での
直接書き出しの可否

チャットの制限:
計算量の枠が尽きた際、重い
生成だけでなく通常のチャットも
停止するかどうか

Gemini Notebook